



2023年3月期第2四半期 決算説明資料

林兼産業株式会社

2022年11月14日

連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	
		実績	前年増減
売上高	20,204	20,873	669
営業利益	558	55	▲503
経常利益	670	101	▲568
親会社株主に帰属 する四半期純利益	412	11	▲401

前年同期との主な変動要因

売上高	外食需要の回復に伴う食肉加工品の販売数量増加、および原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った食品・飼料の価格改定により増収
営業利益	価格改定が原価の高騰分に追い付かず、また、前連結会計年度に行ったグループ再編の影響もあり減益
経常利益	営業利益の減少により減益

セグメント別の売上高・営業利益



(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	
		実績	前年増減
売上高	20,204	20,873	669
食品事業	10,401	11,001	600
飼料事業	8,787	9,851	1,063
その他の事業	1,015	21	▲994
営業利益	558	55	▲503
食品事業	191	57	▲133
飼料事業	738	514	▲223
その他の事業	109	16	▲93
消去又は全社	▲480	▲533	▲53

連結貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	2022年3月期末	2023年3月期 第2四半期末	
			増減
流動資産	13,385	16,461	3,075
固定資産	13,107	12,978	▲128
資産合計	26,492	29,439	2,946
流動負債	11,021	14,042	3,021
固定負債	5,703	5,742	39
負債合計	16,724	19,785	3,061
純資産合計	9,768	9,653	▲114
負債純資産合計	26,492	29,439	2,946

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

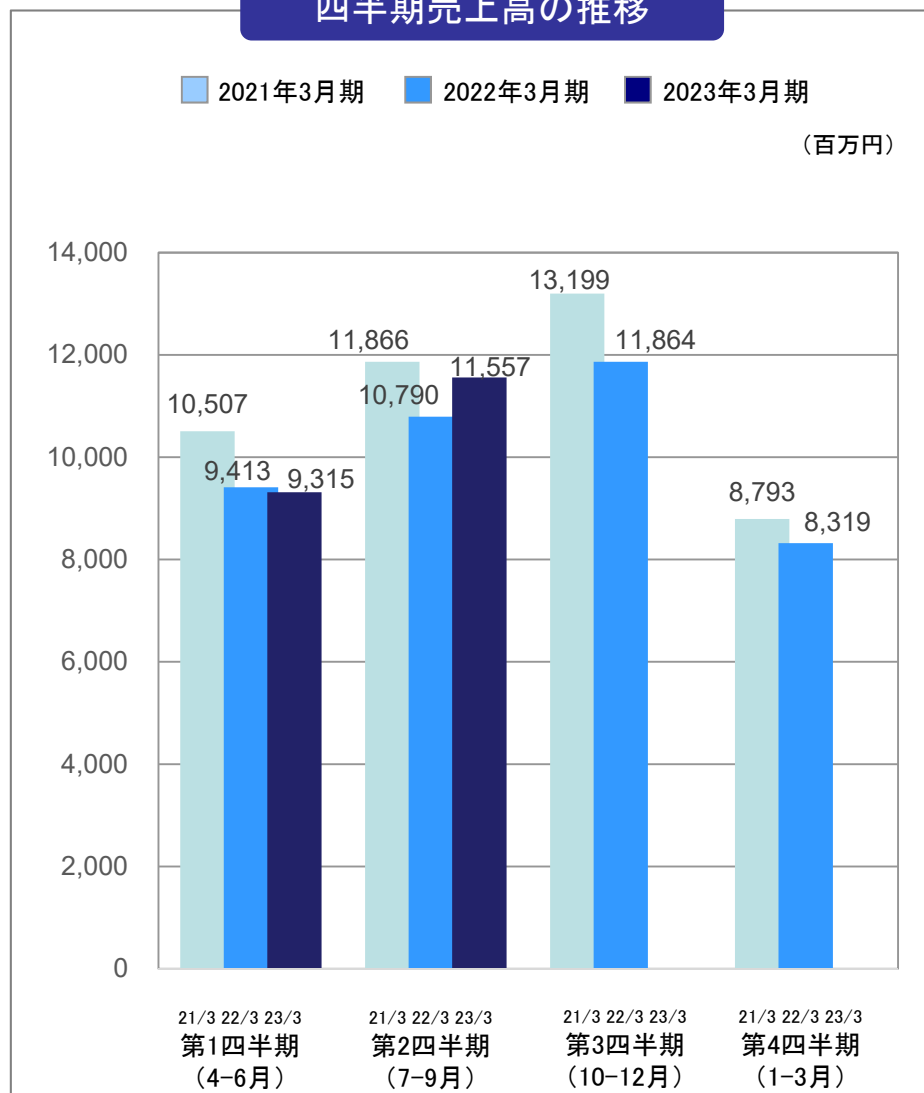


(単位:百万円)

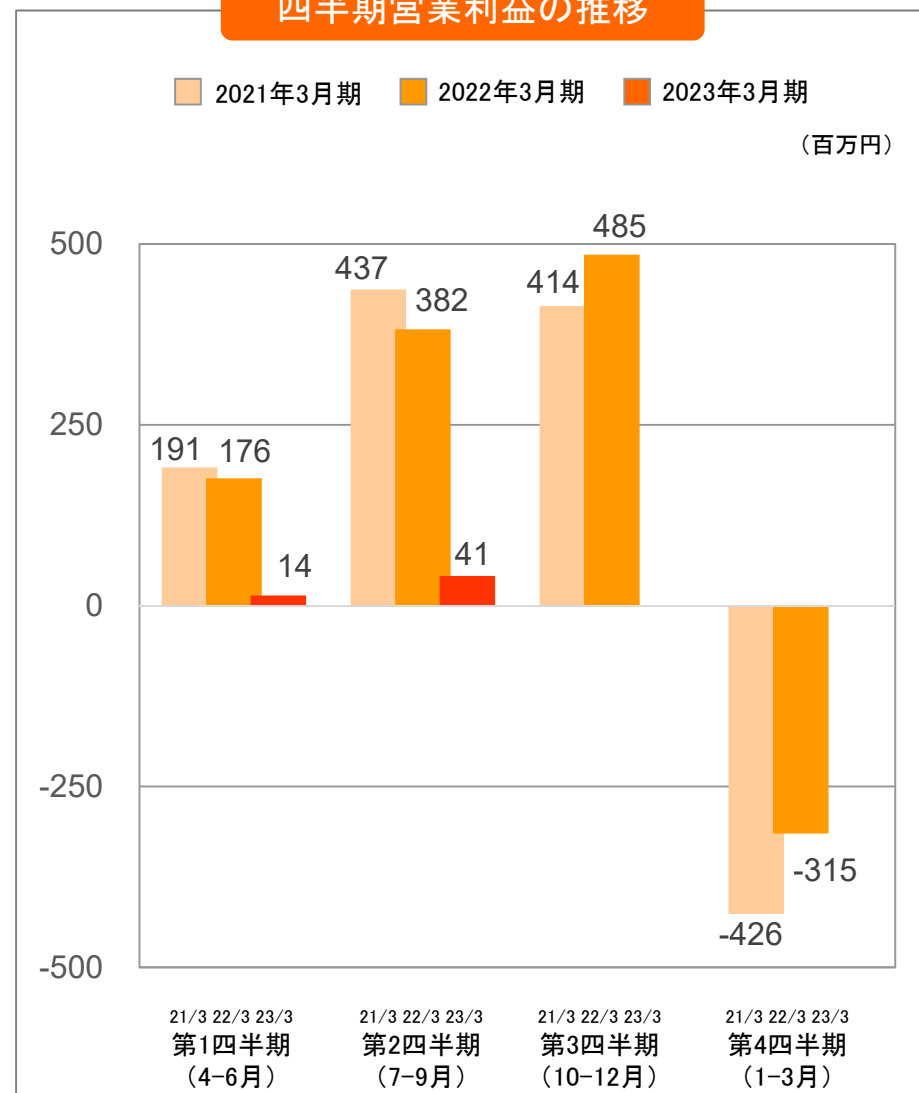
	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲1,704	▲2,211	▲506
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲140	▲323	▲183
フリー・キャッシュ・フロー	▲1,844	▲2,534	▲689
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,133	1,655	521
現金及び現金同等物の増減額	▲711	▲877	▲166
現金及び現金同等物の期首残高	1,976	1,942	▲33
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,264	1,064	▲200

四半期連結業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移

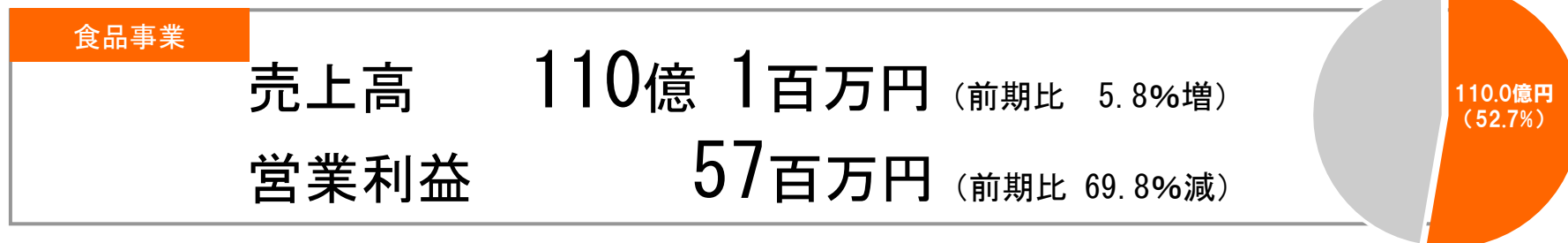


四半期営業利益の推移



セグメントの状況（食品事業）

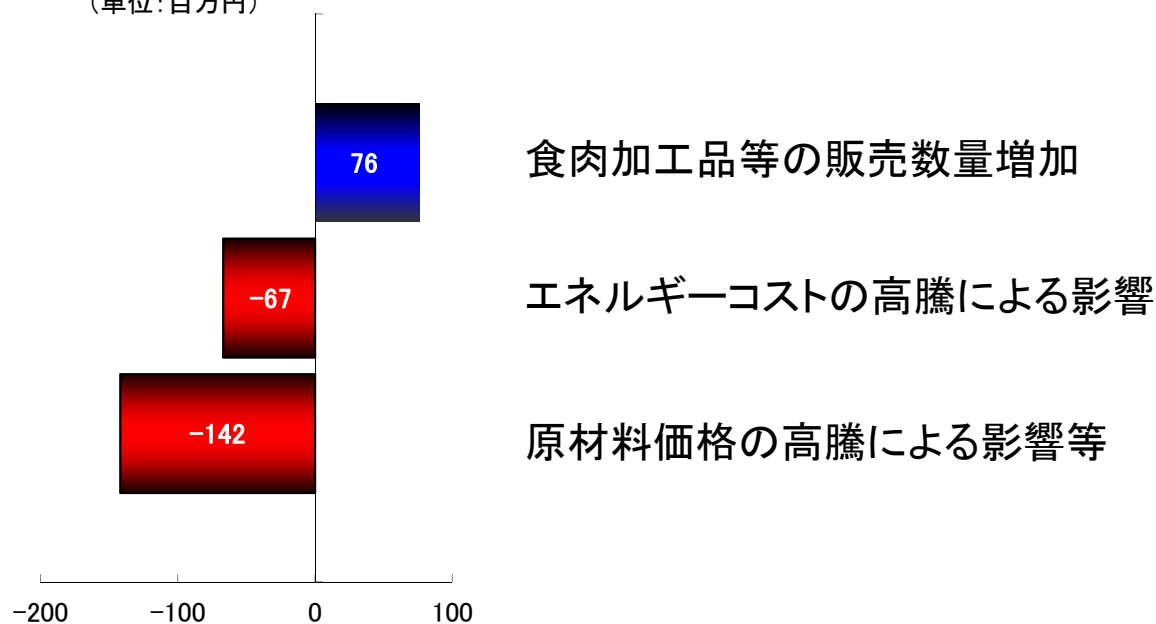
概況：外食需要の回復に伴う食肉加工品の販売数量増加、および原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応した価格改定などにより増収となったものの、価格改定が原価の高騰分に追い付かず減益



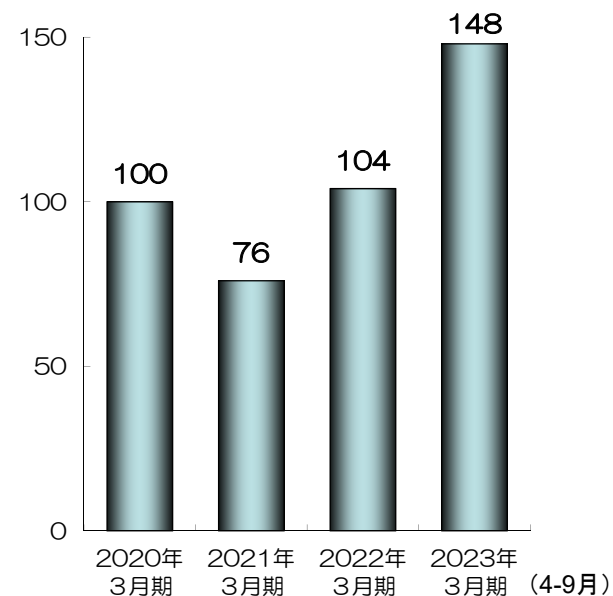
営業利益の増減要因

営業利益の減少 ▲1億33百万円

(単位:百万円)



機能性食品素材の販売数量推移 (2020年3月期を100とする)



セグメント施策の進捗状況（食品事業）

食品事業

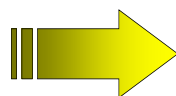
施策

状況

〈機能食品部門〉

機能性素材の販売拡大

研究・開発の拡充

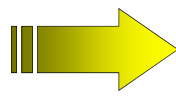


- ・機能性食品素材の販売数量増加（前期比 41.8%増）
- ・ヒシエキスの毛髪への効果に関する特許取得

〈加工食品部門〉

販売の効率化と基盤の強化

工場の効率化と生産能力拡大



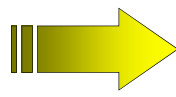
- ・レトルト食品の販売数量増加（前期比 18.0%増）
- ・子会社の林兼フーズ(株)を含めた生産ラインの集約

〈食肉部門〉

「霧島黒豚」の販売強化

安定取引の拡大

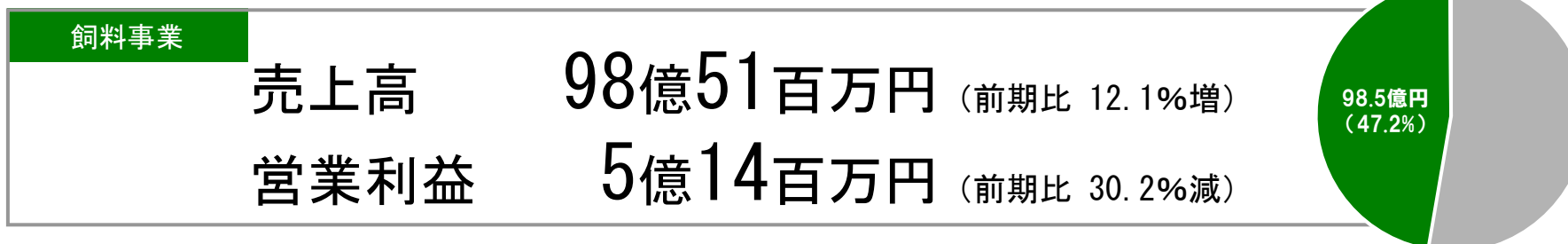
都城工場の収益力強化



- ・霧島黒豚のブランディング強化に向けた取り組みを開始
- ・量販店との専売品開発中
- ・特定加熱製品（ローストビーフ）、食肉惣菜（ハンバーグ）の生産拡大

セグメントの状況（飼料事業）

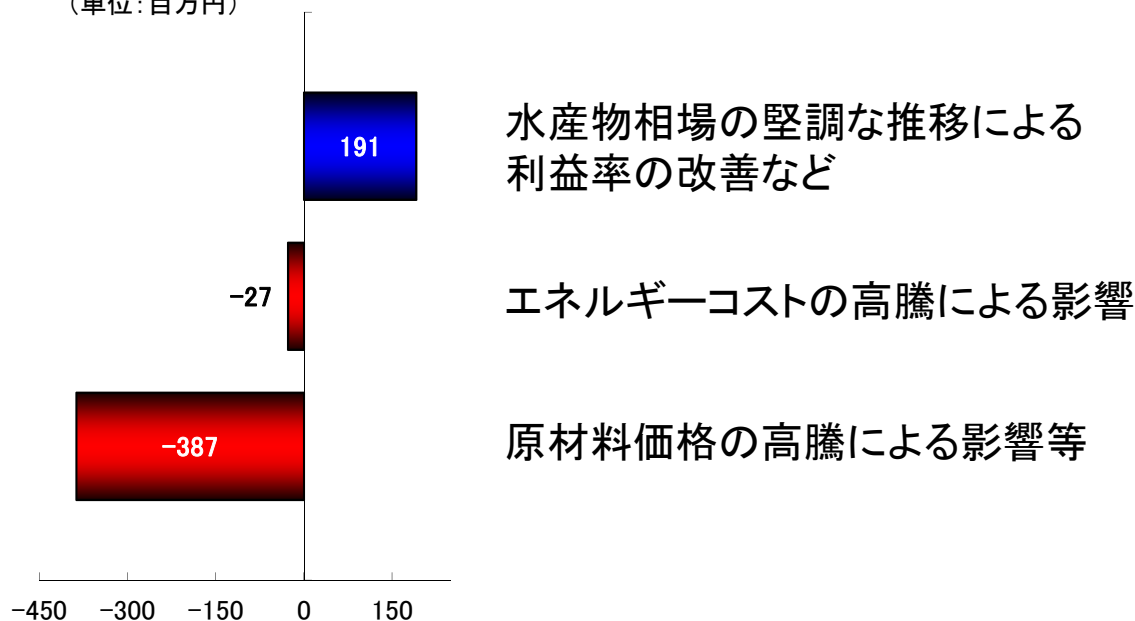
概況：養魚用飼料ならびに畜産用飼料の原材料価格高騰に対応した価格改定により増収となったものの、価格改定が原価の高騰分に追いつかず減益



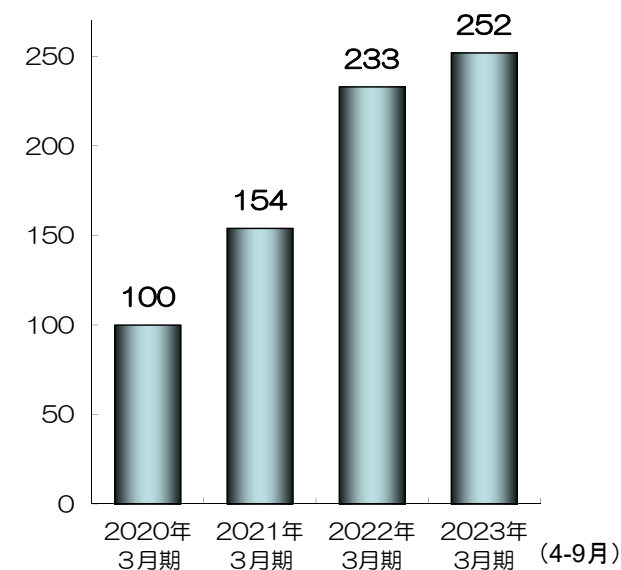
営業利益の増減要因

営業利益の減少 ▲2億23百万円

(単位:百万円)



養魚用飼料輸出数量推移
(2020年3月期を100とする)



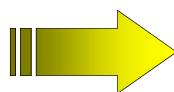
セグメント施策の進捗状況（飼料事業）

飼料事業

施策

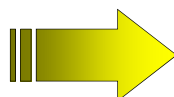
状況

国内販売の拡大



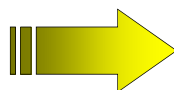
- ・育成用飼料の品質改善、仕上げ用飼料の定着化および漁場の疾病対策サポートにより、大手養殖場への直販拡大
- ・当社が治療法を開発したアルベンダゾール薬（ベコ病対策）が水産薬として承認され発売開始、難治性魚病（ノカルジア症他）についても治療法確立に向け試験実施中

海外販売の拡大



- ・パートナーシップ強化により養魚用飼料の海外向け販売数量増加（前期比 8.0%増）

効率的な生産体制の構築



- ・子会社化した太幸物産(株)を含めた工場間の製品移管により生産効率化を図る

連結損益計算書



(単位: 百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計		2023年3月期 第2四半期累計		前年増減		主な要因
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	20,204	100.0%	20,873	100.0%	669		台風災害による損失(豚舎等修繕費) 44
売上原価	17,087	84.6%	18,453	88.4%	1,366		
販売費及び一般管理費	2,558	12.7%	2,364	11.3%	▲193	▲1.3%	
営業利益	558	2.8%	55	0.3%	▲503	▲2.5%	
受取配当金	73		60		▲12		
その他	109		89		▲20		
営業外収益合計	182		149		▲32		
支払利息	63		58		▲5		
その他	7		45		38		
営業外費用合計	70		103		32		
経常利益	670	3.3%	101	0.5%	▲568	▲2.8%	
特別利益合計	-		1		1		
特別損失合計	3		52		49		
税金等調整前四半期純利益	667		50		▲617		
法人税等合計	204		39		▲165		
非支配株主に帰属する四半期純利益	50		-		▲50		
親会社株主に帰属する四半期純利益	412	2.0%	11	0.1%	▲401	▲2.0%	

(単位:百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期			
		第2四半期累計実績	前年増減	通期計画	前年増減
売上高	40,389	20,873	669	40,000	▲389
営業利益	728	55	▲503	250	▲478
経常利益	916	101	▲568	350	▲566
親会社株主に帰属する 当期純利益	707	11	▲401	300	▲407

2023年3月期 通期の見通し

今後の見通しにつきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰など依然として厳しい経営環境が続くと考えられます。こうしたなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおり推移していることから、2022年5月13日に発表した通期の業績予想に修正はありません。今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00	百万円 131	% 18.6	% 1.4
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 —						
2023年3月期(予想)			円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00		44.0	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正はありません。

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先 林兼産業株式会社 総務部 TEL 083-266-0210
IRサイト <https://www.hayashikane.co.jp/ir/>